



スペルマンのLPXシリーズは、現在要求されるNDT検査要件に最適です。LPXユニットは頑丈で運びやすく、オプションのLPX1620型チューブヘッド・スタンドを使用すれば簡単にセットアップでき、抜群の安全性によるブレのない鮮明なイメージが得られます。チューブヘッド・スタンドは伸縮式脚、手動ホイールによる高さ調整部、そしてチューブヘッドのチルトおよび横回転を制御するロック可能な手動ホイールを備えています。チューブヘッド・クレードルはクッション付きですので、しっかり固定しつつ振動による影響を軽減します。チューブヘッドの水平位置を迅速かつ容易に調整できるよう、気泡式水平器も備えています。

仕様

- 横回転： 360°
- チルト： -45° ~ +90°
- サイズ： 脚の占有幅：109cm(最小)~179cm(最大)
床面からチューブヘッド・リング中心線までの距離：115cm(最小)~212cm(最大)
- 重量： 16kg

セットアップ

1. 三脚の脚を伸ばします。
2. 高さロックノブを緩め、ギアヘッド取付部を7~8cm持ち上げます。
3. ギアヘッドを三脚シャフトに載せます。シャフトの位置決め用ネジ穴と、ギアヘッド取付部の穴と合わせます。付属の六角棒スパナを使用して、位置決め用ネジをギアヘッド取付部に締め込みます。
4. チューブヘッドをクレードルに取り付けます。刻み目付きのラッチとアウターリングを開けば、クレードル・アセンブリーを取り外すことができます。クレードル上のフックラッチ2個を開放します。冷却用マニホールドがすべて緩衝パッド間に収まっていることを確認しながら、クレードルをチューブヘッドに装着します。フックラッチをしっかりと掛けます。
5. クレードルをギアヘッド・アウターリングに取り付けます。刻み目付きのノブロック部を閉じ、ラッチを掛けます。
6. 高さ/チルト/回転制御部を使用して、必要に応じてX線チューブヘッドの位置を調整します。X線照射を行う前に、すべての調整部をロックします。

- 頑丈なアルミニウム製
- 簡単なセットアップ
- チューブヘッドの3軸位置調整が可能
- 抜群の安定性によるブレのない鮮明なイメージ



LPX1620チューブヘッド・スタンドは、すべてのLPX160系およびLPX200系チューブヘッド・アセンブリーに適合します。

